

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍にて感染予防の観点から、地域交流会(合同行事年2回)や地域に向けた認知症予防啓発活動を行えていない。地域との交流の在り方が課題となっている。	当事業所が、地域の一員として日頃から交流を深めつつ共に地域防災に努め、又認知症ケアのノウハウや相談窓口として地域に還元が出来る。	①運営推進会議を活用し、消防、区長を始め地域関係者、併設の事業所等にて防災について話し合い、協力体制強化を図る。 ②わかたけ班として町内避難訓練に参加。	12ヶ月
2				③地域に向け、認知症介護についての講習・指導を開催。 ④認知症ケアのノウハウ等の相談対応。 ・困難事例等においては、市や地域包括支援センターと連携を図る。	12ヶ月
3	6	長引くコロナ禍の中、ケア現場での利用者・職員のストレスが増大している。虐待防止に関する取り組み対応しているが、より具体的ケア場面での話し合いが必要になっている。	職員の心身の管理(ストレスケア)に努めつつ目に見えない虐待(無視など)発見の難しさを職員間で共通理解し、研修・勉強会にて虐待防止に努める。	①虐待防止に関する指針の周知徹底。 ②虐待防止・身体拘束廃止委員会にて、より具体的なケア場面での不適切ケア事案検討⇔職員会議⇔運営推進会議と話し合いケアにいかす。	12ヶ月
4				③担当職員によるケアの目標・評価(振り返り) ④自己チェックシート・気づきアンケート実施。 運営推進会議にて集計結果報告。 ⑤定期個人面談(管理者) ⑥定期研修・勉強会実施	12ヶ月
5	20	長引くコロナ禍にて、買い物したり、地域の方々との交流が途絶え、家族との対面面会やボランティア等の受け入れに至ってない。	感染予防を講じた上で出来る支援をする。感染状況を見ながら、家族対面面会、介護相談員、ボランティア受け入れていく。	コロナ禍でも感染予防を講じた上で出来る支援。 ・移動販売を受け入れ買い物を体験する。 ・間接的に法人内の保育園児と交流を持つ。 (利用者が手掛ける作品や手紙をプレゼント)	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。